

令和6年度第1回東京都内水面漁場管理委員会議事結果

- 1 開催日時 令和6年4月26日(金) 14時00分から15時20分まで
- 2 出席委員 安永会長、内海委員、大久保委員、小島委員、塚本委員、小林委員、村井委員、丸山委員
- 3 出席者 東京都産業労働局農林水産部水産課
藤井水産課長、龍課長代理、横山主事
東京都島しょ農林水産総合センター 中野所長、橋爪研究員
東京都内水面漁場管理委員会事務局 鶴殿

4 議事内容

<報告事項>

- (1) 人事異動について
令和6年4月1日付の水産課及び島しょ農林水産総合センターの人員配置について報告
- (2) 江戸川遡上稚アユ対策について
旧江戸川江戸川水閘門での稚アユ採捕禁止の看板設置について報告
- (3) 令和6年度多摩川のアユ遡上状況について
島しょ農林水産総合センターが実施しているアユ遡上調査について報告
- (4) 東京都内水面漁業協同組合連合会による稚鮎採捕について
令和6年4月に東京都内水面漁連が実施した稚鮎採捕事業について報告
- (5) 東京都内水面漁業調整規則の改正について
令和6年4月1日付で東京都内水面漁業調整規則が改正され、押網(がさがさ)の利用が都内の内水面で可能となりましたので報告
- (6) 東京都海区漁業調整委員会委員及び東京都内水面漁場管理委員会委員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正について
令和6年4月1日付で条例が改正について報告

<議案>

- (1) 秋川漁協の遊漁規則の変更について
漁協からのお願いという形で禁漁区に設定していた区域について、遊漁規則に明記することで、産卵期のヤマメ資源を保護する。また、オンラインシステムを利用した電子遊漁券を導入するために必要な規則の改正を行うことについて審議。

●主な意見

- 塚本委員 電子遊漁券は2種類あったと思うのですが、どちらを使うのですか。
- 安永会長 秋川漁協は2種類を同時に導入する方向で考えています。
- 小林委員 電子遊漁券を導入すると遊漁者の購入データや釣りのデータなどが漁協で見ることができるようになるので、その活用も漁協として考えていくと遊漁者のさらなる増加に活用できるのでは
- 事務局 電子遊漁券で得られるデータの重要性は、昨年度開催された水産課専門懇談会でも中奥委員からその重要性について提言されています。水産課としても活用方法等検討したいと考えています。
- 安永会長 秋川漁協としてもこの件には注目して水産課と相談しながら活用を検討します。

●審議結果

知事諮問の内容について異議のない旨と答申することに異議なし

<その他>

- (1) 次回日程について

次回開始日は令和6年7月の開催を予定。予定議題は、多摩川の新ジミ漁業権免許に伴う漁業権行使の制限の指示について